



## 健やか豆知識

第38回

(ひきつけ)

# Q. 子どもが初めてけいれん発作を 起こしたときの対応として 正しいものは？

Ⅰ 子どもから離れて  
119番する

Ⅱ 子どものからだを  
強くゆする

Ⅲ けいれんの様子を  
観察し、記録する



高田製薬は、患者さんや医療関係者の声に耳を傾け、医療ニーズに合った医薬品の開発と情報提供で、健康な社会づくりに貢献します。

— 人びとの健康を願って —  
高田製薬株式会社

## 発作の様子を記録し、受診時に医師に見せましょう

けいれん発作にはいろいろな原因がありますが、特に脳に原因があり発作を起こしている場合は「てんかん」が考えられます。てんかんは、脳が突然興奮し、発作を繰り返す病気で、生まれつきの場合や、事故などによる脳の損傷、インフルエンザ脳症など原因は様々です。発作の症状もそれぞれ異なり、患者さんの病気との付き合い方も十人十色です。

子どもに多い欠神発作（突然意識がなくなる）などは、幼稚園や学校で「これはてんかんの発作ではないか」などの指摘で初めて気づき、受診することも多いです。けいれんを起こすと周りは慌てると思いますが、できるだけ様子を観察してあげてください。医師が診察時に発作を観察できる機会は少ないため、発作の様子をスマートフォンなどで撮影し、動画を見せることができれば重要な情報となります。加えて、発作前後の記憶の障害の有無や発作の起こりやすい時間、睡眠との関係などの記録もあれば非常に役立ちます。

てんかんが疑われる場合は、血液、髄液、脳波、MRI、心電図などの検査を行い、てんかんであれば発作の分類を決めます。治療は通常、抗てんかん薬の内服から始まり、場合によっては内服なしで経過観察となることもあります。3～5年服用し、発作が治まった状態が続いている場合は、薬を徐々に減らすことも考え、発作が起きなければ薬を中止することも考えます。

てんかんと診断された子どもは、「いつまた発作が起きるか」と不安を抱えています。発作や治療薬について詳しく説明し、同じてんかんを持つ子と交流する（自分とは異なるてんかん症状を知る）ことで、孤立感をやわらげ、自分から病気との付き合い方を決められるようにサポートしてあげましょう。まずは家族で、病気のことを知ることからはじめ、疑問点や不安なことがあれば主治医やてんかんの専門機関に相談するとよいでしょう。最近ではてんかんのある子どもたちのために、学校や地域のサポート体制も進んでいるので、上手に活用できるとよいですね。

監修 高橋 幸利

静岡てんかん・神経医療センター院長

< 編集 >

さらに詳しい情報は  
ホームページで!



< 正解 Ⅲ けいれんの様子を観察し、記録する >

## クイズの解説

### 発作時の記録は、受診時の重要な情報となります

子どもがけいれん発作（ひきつけ）を起こしたとき、周りは動揺し慌ててしまうと思いますが、できるだけ落ち着いて速やかに安全を確保することが大切です。「てんかん」と診断されている子どもの場合は、発作が起きたときにどうしたらよいか、主治医や家族などの関係者で日頃からよく話し合って共有しておくといでしょう。

#### ■クイズ回答 Ⅰ 子どもから離れて119番する 【×】

子どもの発作を目にすると、すぐに周りの助けや救急車を呼びに行きたくなると思いますが、まずは落ち着いて、着ている衣類をゆるめ、**子どものそばを離れないようにしましょう**。また、子どもが倒れたのが浴室、高い所、道路など危険な場所であれば、周りの危険物を避けて、**安全な場所に移動させてあげましょう**。口の中に何かものが入っている場合は、無理に掻き出さず、顔を**横向きにして寝かせてください**。舌を噛まないようにと、口にタオルや割り箸を入れることは、口の中を傷つけたり、嘔吐の誘発や誤嚥の原因となるため危険です。

#### ■クイズ回答 Ⅱ 子どものからだを強くゆする 【×】

子どもが発作で倒れたとき、からだを揺すったり、むやみに名前を呼んだりして子どもの意識を確認するのではなく、**落ち着いて発作の様子を観察し**、おさまった後は静かに寝かせてあげましょう。てんかんの発作は、通常、数秒から数分間でおさまります。しかし、なかには「てんかん重積状態」と呼ばれる、なかなかおさまらない場合や脳炎や低血糖による発作の場合もあるため、**発作が5分以上続いた場合や短い発作が意識の戻らないうちに繰り返し起こる場合は救急車を呼んでください**。

#### ■クイズ回答 Ⅲ けいれんの様子を観察し、記録する 【○】

てんかんの発作にはさまざまなタイプがあり、また、てんかん以外の原因でけいれん発作を起こすことがあります。発作の原因や分類など診断をつけるうえで、**発作時の記録（特にスマホやビデオカメラなどで撮影した動画）**は、とても大切な情報になります。「発作の様子を記録するときのポイント」（右表）を参考に、観察、記録し、受診時に医師に伝えられるといですね。

### 発作の様子を記録するときのポイント

1. **いつ、どこで発作が起きたか？**  
発作が起きた日、時刻、場所
2. **どんな状況下のときに起きたか？**  
睡眠中？ 遊んでいて？ 歩いていて？ 入浴中？
3. **どのように起きたか？**  
身体の中のどの部分から始まって、どのように進展していったか？
4. **意識はどうだったか？**  
発作の間、受け答えはいつもどおりに出来ていたかどうか、どのようにいつもと違っていたのか、発作のことを覚えていたか？
5. **持続時間がどれくらいだったか？**  
発作の長さ、発作後に意識が戻るのにどのくらい時間がかかったか？
6. **何か原因はあったか？**  
発作が起こる前に、発熱、薬の飲み忘れ、睡眠不足など、いつもと違う状況がなかったか？